

男性精巣機能障害に関する診断・治療の包括的研究への長年にわたる功績が高く評価された。

男性不妊症に対して外科的治療を行う医師は全



国的に少なく、道内の泌尿器科医で唯一、生殖医療専門医の資格を有する。札幌大泌尿器科時代に、「当時の熊本悦明教授から男性の内分泌関連

## 道医師会賞を受賞した

### 伊藤直樹氏

の研究・臨床を任せられたのが、この道に入ったきっかけ」という。

現在は、NTT東日本

札幌病院（中央区）の外  
科診療部長として、無精子症に対する精巣内精子採取、精索静脈瘤の手術を数多く手掛けている。本道で、これらの顕微鏡手術を専門的に行う医療

## 外科的生殖医療の普及へ

機関は限られている。

そのため、札幌市内外から紹介患者が訪れ、手術件数は年間100件を超える。一方、「不妊の原因の半数は男性にあり、2泊3日程度の入院で済むことが十分に周知されておらず、治療をあきらめてしまうケースが少なくない」と指摘。また、泌尿器科医で不妊治療を目指す医師が少ないことを課題に挙げる。

「医療者も含め、生殖医療の啓発を進めていくことが重要」と訴える。  
1959年9月25日生まれ。札幌大84年卒。

